

**問1** 地球温暖化の影響で世界各地の氷河が縮小していることが問題となるなか、ブラジルなどの国々では、サトウキビから「バイオエタノール」を製造して利用する取り組みが進んでいます。このバイオエタノールの利用が地球温暖化の抑制に貢献すると考えられている理由として、最も適切なものはどれですか。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 燃焼時に排出される二酸化炭素が、原料となる植物の成長過程で吸収した量と相殺されると考えられているため
2. 原料となるサトウキビは燃焼させても二酸化炭素を一切排出しない性質を持っているため
3. 化石燃料に比べて、燃焼時に発生する熱量が非常に大きく、少量の燃料で多くのエネルギーが得られるため
4. 植物から作られた燃料を使用することで、大気中の酸素濃度を上昇させる効果があるため

**問2** 北緯50度以上に位置するイギリスのロンドンは、日本の北海道よりも高緯度ですが、冬の気温がそれほど低くならず、比較的温暖な気候となっています。このように高緯度のわりに冬の寒さが厳しくない理由を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 北極側から流れてくる寒流を遮断する山脈があり、一年中、乾燥した季節風が吹き続けているため。
2. 低緯度から流れてくる暖流の北大西洋海流と、その上の暖かな空気を運んでくる偏西風の影響を受けるため。
3. 赤道付近で発生した熱帯低気圧が頻繁に通過し、大量の熱と湿った空気が供給され続けているため。
4. ユーラシア大陸から吹き出す冷たい季節風が、周辺の暖かな海域で湿気を吸収して気温を上昇させるため。

**問3** 熱帯や亜熱帯地域で見られ、コーヒーやサトウキビ、天然ゴムといった輸出を目的とした商品作物を、多くの労働者を雇って大規模に栽培する農園の名称を答えなさい。（2024年 島根公立入試 類似）

1. プランテーション
2. 焼畑農業
3. オアシス農業
4. 企業的穀物農業

**問4** ロシア北部のシベリア付近など、寒冷な高緯度地域で見られる生活様式について述べた次の文のうち、衣服の特徴とその背景の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2021年 広島公立入試 類似）

1. トナカイなどの動物の毛皮を素材とした防寒着を着用し、厳しい寒さから身を守っている。
2. 高山地域特有の気圧の低さに対応するため、アルパカなどの毛を用いた通気性の良い衣服を着用している。
3. 日差しが強く乾燥した気候に対応するため、全身をゆったりとした薄い布で覆う衣服を着用している。
4. 樹木が育たないツンドラ地帯では植物繊維が貴重なため、魚の皮を加工した防水性の高い衣服を主に着用している。

**問5** ブラジルやアメリカ合衆国が世界有数の生産量を誇る農産物である「大豆」について、その生産背景や用途の説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 広大な土地を活用した大規模な機械化農業が行われており、食用油の原料や家畜の飼料として世界各地に輸出されている。
2. 季節風の影響を受ける温暖湿潤な地域での労働集約的な農業が中心であり、主に生産国内での主食として消費されている。
3. 冷涼な気候を好むため高緯度地域での栽培が盛んであり、パンや麺類の原料として古くからヨーロッパで生産されている。
4. 熱帯のプランテーションでの栽培が中心であり、先進国向けの嗜好品として、特定の企業によって独占的に生産されている。

**問6** オーストラリアにある都市の月別平均気温を確認すると、1月前後の気温が最も高く、7月前後の気温が最も低くなっています。このような気温の変化が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）

1. この都市が南半球に位置しており、北半球とは季節が逆転しているため。
2. 赤道付近の熱帯地域に位置しており、年中高温で季節の変化がほとんどないため。
3. 高緯度の西岸海洋性気候に属しており、暖流と偏西風の影響で冬の寒さが和らいでいるため。
4. 中緯度の大陸東岸に位置しており、季節風（モンスーン）の影響を強く受けているため。

**問7** 世界の茶の生産と輸出に関する統計において、2000年から2020年の間に中国の生産量は世界シェアの約19%から約45%へと急増しました。しかし、輸出量のシェアを見ると、中国の割合は生産量のシェアほど高くはありません。この理由として、中国の茶業におけるどのような背景が考えられますか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. 自国内での茶の消費量が非常に多いため
2. 生産した茶の大部分を工業用の原料として保管しているため
3. 輸出处の品質管理基準が厳格化され、出荷が制限されたため
4. 近隣諸国からの安価な茶の輸入が増え、自国製品の競争力が低下したため

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 燃焼時に排出される二酸化炭素が、原料となる植物の成長過程で吸収した量と相殺されると考えられているため	植物は成長過程において光合成により大気中の二酸化炭素を吸収します。バイオ燃料を燃焼させた際に二酸化炭素は排出されますが、それはもともと植物が吸収したものであるため、大気全体で見れば二酸化炭素の増減に影響を与えないという「カーボンニュートラル」の考え方に基づいています。これに対し、石油や石炭などの化石燃料は、地下に固定されていた炭素を二酸化炭素として大気中に放出するため、温暖化を進行させる要因となります。
問2	<b>答え 2</b> 低緯度から流れてくる暖流の北大西洋海流と、その上の暖かな空気を運んでくる偏西風の影響を受けるため。	ヨーロッパの西側に位置するイギリスなどの地域は、北大西洋海流という強力な暖流が低緯度から流れてきています。この暖流の上で温められた空気が、一年中吹いている偏西風によって陸地へと運ばれるため、ロンドンなどの高緯度地域でも冬の気温が下がりにくなります。この仕組みによって、西岸海洋性気候特有の「夏は涼しく、冬は温暖」という特徴が生まれます。
問3	<b>答え 1</b> プランテーション	熱帯・亜熱帯の低緯度地域で展開される大規模な農業形態です。かつて植民地であった地域を中心に、先進国の資本や技術と、現地や他地域からの安価な労働力を組み合わせて、特定の輸出用作物を生産します。これにより、特定の作物の輸出に経済を依存するモノカルチャー経済が形成される要因となりました。
問4	<b>答え 1</b> トナカイなどの動物の毛皮を素材とした防寒着を着用し、厳しい寒さから身を守っている。	高緯度・寒冷地域では、農業が困難な一方で、トナカイの遊牧や狩猟が行われてきました。そのため、身近に入手可能なトナカイなどの動物の皮や毛が、衣服の材料として活用されています。選択肢にあるアルパカはアンデス山脈などの高山地域、全身を覆う布は乾燥帯の砂漠周辺、魚の皮は一部の特殊な文化圏に見られるものであり、シベリア周辺の一般的な寒冷地域の記述としては毛皮を用いた防寒着が最も適切です。
問5	<b>答え 1</b> 広大な土地を活用した大規模な機械化農業が行われており、食用油の原料や家畜の飼料として世界各地に輸出されている。	ブラジルやアメリカ合衆国大豆栽培は、企業的な経営による大規模な機械化農業が特徴です。大豆は豆腐などの食品に加工されるだけでなく、食用油の原料や、肉類の需要拡大に伴う家畜の重要な飼料（エサ）として、世界的な貿易品目となっています。他の選択肢にある「主食としての消費」は米、「パンの原料」は小麦、「嗜好品」はコーヒーやカカオの説明に該当します。
問6	<b>答え 1</b> この都市が南半球に位置しており、北半球とは季節が逆転しているため。	地球は地軸を傾けた状態で公転しているため、太陽の光が当たる角度が時期によって異なります。これにより、南半球では北半球が夏の時期（6～8月）に冬を迎え、北半球が冬の時期（12～2月）に夏を迎える「季節の逆転」が起こります。したがって、オーストラリアなどの南半球の都市では、1月に気温が高く、7月に低くなるという日本（北半球）とは逆のパターンを示します。
問7	<b>答え 1</b> 自国内での茶の消費量が非常に多いため	中国は世界最大の茶の生産国であり、20年間でそのシェアを大幅に拡大させました。しかし、中国国内には伝統的な茶文化が深く根付いており、膨大な人口による国内消費が極めて多いため、生産された茶の多くが国内で消費されます。その結果、ケニアやスリランカといった輸出依存度の高い国々と比較して、生産量に対する輸出量の割合が低くなるという特徴があります。